

地域で診る心不全患者の診療指針（修正版）							
		執筆担当（*敬称略）	文字数		備考	章の責任者	
1	序文	磯部光章	500				
2	非専門医による心不全診療						
2-1	慢性心不全の概念・高齢心不全の特徴	弓倉整	1500	WG	「HFpEF」は使わない。可逆性の状態であること、管理・介入の重要性についても言及する。心不全はcommon diseaseであることを示す	加藤真帆人	
2-2	地域で診る心不全患者の管理・治療の実 病状の把握（こういった所見を認めたら急性増悪と考える）						
	病歴（併診疾患の診療状況把握、薬物療法）	平原佐斗司	1000				
	自覚症状	横山広行	1000				
	身体所見	横山広行	1000				
	各検査所見						
	胸部X線	横山広行	1000				
	心エコー	加藤真帆人	1000				
	血液所見	門田一繁	1000				
2-3	心不全患者の外来管理・治療の実 運動療法/心不全リハビリテーション	神谷健太郎	1600	WG	これまでのGLと齟齬がないように 遠隔診療は3-2の項目と重複するので、現在保険収載されているPMによる遠隔診療に限って下さい	横山広行	
	栄養評価・フレイル・サルコペニア	宮島功	1600				
	水分管理	佐藤幸人	800				
	薬物治療	佐藤幸人	1600				
	非薬物治療の適応						
	手術（CABG・TAVI）	河野隆志	800				
	ペースメーカーとICD	河野隆志	800				
	在宅酸素療法と呼吸管理	河野隆志	800				
	ペースメーカーによるモニタリング	永井利幸	600				
	併存疾患への対処						
	腎機能障害	佐藤幸人	800				
	認知障害	江頭正人	800				
	悪性腫瘍	横山広行	800				
	脳血管障害	江頭正人	800				
	糖尿病と代謝疾患	衣笠良治	800				
	骨関節疾患	永井利幸	800				
	抑うつ	江頭正人	800				
	誤嚥性肺炎	横山広行	800				
	その他障害・多発障害	衣笠良治	800				
2-5	心不全患者の在宅管理	田中宏和	800		「貧血」を含める 開業医がどこまで介入するか、出来るかについての一線について書き方を工夫する		
2-6	急性増悪時の対処	田中宏和	800				
2-7	再入院予防のための介入	全員で検討	800				
3	地域で行う心不全診療						
3-1	これからの病診連携のありかた（病診連携、水平連携）	弓倉整	1500	WG	「複数主治医制」は使わない 事例を挙げて、実現可能な範囲の提案をする 現状で使用可能なものを中心に近未来にも簡単に触れて下さい。	加藤真帆人	
3-2	心不全診療における病診連携モデルの実際						
	心不全診療モデル：地方型	渡辺徳	3000				
	心不全リハビリプログラムと多職種カンファレンス	渡辺徳					
	在宅医療チームとクリティカルパスの活用	渡辺徳					
	心不全診療モデル：都市型	中根英策	3000				
	心不全ノート・患者ノートの利用	中根英策					
	悪化時、再入院の受け渡し体制	中根英策					
	遠隔診療機器の可能性と課題	織田良正	1000				
3-3	心不全診療における各職種の役割						
	多職種で連携するために必要な医療情報のエッセンス	平原佐斗司	1000				
3-4	心不全診療における各職種の役割			WG		水野篤	
	地域におけるかかりつけ医	田中宏和	1000				
	歯科医師	宮本昭彦	1000				
	看護師	根井あずさ/服部絵美	1000				
	管理栄養士	小林晶子	1000				
	薬剤師	関下禅美	1000				
	理学療法士	齋藤正和	1000				
	Medical Social Worker (MSW)	齋藤慶子	1000				
	ケアマネジャー	根田一成	1000				
3-5	心不全患者の生活環境と療養環境						
	生活環境・療養環境における多職種間の連携	水野篤	1200				
	生活環境のアセスメント	根井&服部	1000				
	家族・介護者	伊東紀揮	1000				
	独居高齢者・老々介護・介護との連携	根田一成	1500				
	患者・家族への教育・生活指導・社会福祉制度の利用	池亀俊美/関下禅美/小林晶子/齋藤正和	2100				
					「ケアギバー」は使わない タイトルはご検討下さい。項を分けても構いません。行動変容の視点を入れる		
4	心不全患者の緩和ケアと終末期ケア						
4-1	緩和ケアの定義とその概要	大石醒悟	1000	WG	最終稿決定の前に関係者でprereviewさせて下さい	安斉俊久	
4-2	心不全の経過と患者の意向を共有する	西川満則/高田弥寿	2000				
4-3	在宅での心不全終末期を支える						
	身体的苦痛の問題	清水政克/大石醒悟	1000				
	身体以外の問題	柏木秀行	1000				
4-4	心不全患者の家族・介護者へのケア	田中奈緒子/藤田愛	1000				
			56500				
		原稿用紙	約144枚				
		ページ数	約48頁				

Working Group名簿

WG名	取り纏め役	グループ長	メンバー
病診連携とかかりつけ医の役割	加藤 真帆人		加藤 真帆人/榊原記念病院
			織田 良正/織田病院・佐賀大学医学部附属病院
			門田 一繁/倉敷中央病院
			中根 英策/北野病院
			平原 佐斗司/梶原診療所
			弓倉 整/弓倉医院
			横山 広行/横山内科循環器科医院
			渡辺 徳/北信総合病院
地域でのケアと多職種との役割	堀部 秀夫/池亀 俊美		水野 篤/聖路加国際病院
			伊東 紀揮Ns/ゆみのハートクリニック
			齋藤 慶子SW/ゆみのハートクリニック
			根井 あずさNs/東邦大学医療センター大橋病院
			服部 絵美Ns/白十字訪問看護ステーション
			堀部 秀夫/ゆみのハートクリニック
			池亀 俊美Ns/榊原記念病院
			渡辺 徳/北信総合病院
			齋藤 正和/榊原記念病院
			関下 禅美/龍生堂薬局
			根田 一成/白十字訪問看護ステーション
			小笠原 正/松本歯科大学大学院
			宮本 昭彦/北信州心臓病地域連携包括ケア推進協議会 食生活改善部会副会長
			宮本 喜高/宮本歯科医院
小林 晶子/長野県北信保健福祉事務所 長野県栄養士会公衆衛生部長			
ACP(緩和ケアと終末期ケア)	柴田 龍宏		安齊 俊久/北海道大学大学院医学研究院
			木原 康樹/広島大学大学院医歯薬保健学研究科
			大石 醒悟/姫路循環器病センター循環器内科
			柏木 秀行/飯塚病院 緩和ケア科
			柴田 龍宏/久留米大学
			清水 政克/清水メディカルクリニック
			高田 弥寿子Ns/国立循環器病研究センター
			田中 奈緒子Ns/姫路循環器病センター
			西川 満則/国立長寿医療研究センター
			藤田 愛Ns/北須磨訪問看護リハビリセンター
高齢者特有の心不全の評価と介入	横山 広行		横山 広行/横山内科循環器科医院
			江頭 正人/東京大学大学院医学系研究科医学教育国際研究センター
			衣笠 良治/鳥取大学
			佐藤 幸人/尼崎総合医療センター
			永井 利幸/北海道大学
			宮島 功/近森病院
			神谷 健太郎/北里大学
			田中 宏和/ゆみのハートクリニック
			河野 隆志/慶應義塾大学
手帳の作成	衣笠 良治		中根 英策/北野病院
			五十嵐 葵/聖路加国際病院
			門田 一繁/倉敷中央病院
			神谷 健太郎/北里大学
			衣笠 良治/鳥取大学
			柴田 龍宏/久留米大学
			根井 あずさNs/東邦大学医療センター大橋病院
			藤田 愛Ns/北須磨訪問看護リハビリセンター
			水野 篤/聖路加国際病院
			宮島 功/近森病院
			弓倉 整/弓倉医院
			横山 広行/横山内科循環器科医院
渡辺 徳/北信総合病院			